会 議 議 事 録

会　議　名	令和６年度　第２回教育課程編成委員会
開 催 日 時	令和７年１月２１日（火）　１４：００～１５：３０
会　場	中央工学校附属日本語学校　５階　５０１教室
参　加　者	委員 坂本　　敏、渡来　純如、佐藤　洋子、上野　弘道、長谷川龍太、 笹井　利浩、榎本　　修、溝口　健太、川口　貴之、中島　尚美 陪席者 齋藤　規彰、関野　格至、荒井　玲子 以上　１３名
会　議　録	１．開会挨拶 座長の坂本敏校長から開会の挨拶を行い、教育課程編成委員会が開会した。 ２．状況説明 坂本校長から学事報告等（概要）について下記の説明があった。 ・陪席者紹介 ・学校運営状況報告（１２月末現在・理事長交代等） ・令和７年度の学校運営計画の概要（骨子） ３．令和７年度運営計画（案）について 佐藤洋子委員から令和７年度運営計画（案）の説明があった。 （配布資料参照） （１）令和７年度運営計画（案） ・建学の目的と教育方針 ・令和７年度運営重点項目 ・運営指針 ・学生在籍推定数 ・教育指導内容及び教育運営の充実 ・教育設備機器等の整備 ・就職指導体制 ・広報計画等 ・附帯事業

	４．具体的検討 　各学科の教育運営に対して必要な検討を行い、今後更に改善を要する案件や意見が挙げられた。主なものは次の通り。 （１）愛犬美容関連科（愛犬美容科・愛犬美容研究科） ・学生の在籍率の報告があったが、学生の学校に対する満足度や希望・理想を聞く機会は設けているのか。学校ではリアルな学生たちの声を実現するような機会があるのかあれば教えていただきたい。 ⇒前期・後期の二期制である。その前期と後期の終わりにそれぞれ学生対象に授業アンケートを年二回実施している。各科目についての意見や要望欄があり、学生のリアルな声を知る機会を設けている。 ⇒補足として、自己評価をするためのアンケートも年一回実施している。その内容は、学校の教育方針が理解されているか、成績の評価方法を理解されているか、相談体制、就職指導体制は満足しているかといった 12 項目の質問を全学生、進級学年、卒業学年にそれぞれ実施している。 ・ペットショップとして昨年から全店舗で SNS を活用して、生体情報を更新し、お店でのスタッフの働いている様子や楽しい雰囲気をまずは知ってもらうということをしている。SNS の活用においてインスタグラムを見せてもらっているが、学生に学校の案内など更新してもらう工夫があってもよいのではと思う。 ⇒もっとわくわくしてもらえるように努力して参ります。引き続き、よろしくお願いする。 （２）動物看護関連科（動物看護研究科・愛玩動物看護科） ・運営計画案 1 ページ目の 4 番の令和 7 年度運営重点項目の 1 番の人間涵養教育について具体的にやっていることとそれの成果をどう見ているかというのを教えていただきたい。 ⇒人間涵養教育は学校法人全体の教育方針。実践の場としてあるのが軽井沢の研修施設。毎年 2 泊 3 日の合宿研修を実施。連帯責任となるチームを組み、時間、約束事、規則、皆で協力し合わないと成しえないような研修内容。合宿を通して学んだことは学校に持ち帰り、学校生活で活かすことが一つの例。 ・社員は会社に貢献し、会社はその貢献に対して社員に給料を支払う。会社は学校とは全く異なる環境になる。社会人になる前の教育として、就職セミナー等のガイダンスでどのような教育を行っているか。 ⇒専門学校なので専門的なことがメインにはなるが、社会人になる前

	の教育という面では、各科のカリキュラムの中で、特別授業として外部の講師を招いて実施している。例を挙げると、①税務署、②日本年金機構、③警察・消防。日本年金機構は年金の仕組や意義などの講義を実施。警察署や消防署にはご協力をいただいて災害時の避難や闇バイト防止の注意喚起等をする時間も設けている。 ・当院で今年強化しようとしていることは接遇。医療＝技術、技術＝おもてなし。これを目指して、今年は日本航空や全日空の元客室乗務員を医療専門の講師として招いて、講演会を実施予定。昨年は電話応対の接遇セミナーを実施し、クレームに対しての対応がとてもスムーズになった。専門学校でカリキュラムや授業の中に、そういう方を実際に招いての講演会などはやられているのか。 ⇒秘書検定やビジネス検定等にも対応できるビジネスマナー専門の講師を招き、一般教養的な科目の中で実施している。その講師の授業だけではなく元客室乗務員をお招きするなど特別授業も検討したい。 ・エコーに慣れる授業の検討をお願いしたい。エコーは時間がかかる。診断画像の取得を動物看護師に担ってもらいたい。エコーを触る経験と画像解析ができるようにまずは教育をしていただきたいと思う。これは時代の流れで今後ニーズが高まると思っている。 ⇒エコーに関しては、画像診断実習という授業で週１時間実施。独自のカリキュラムとして対応し、本校では継続して実施している。 ⇒トリマーにもエコーは関係しており、オンラインで初診解禁するという話がある昨今。トリマーがエコーをあてて、内臓の状態を報告し、獣医師にオンラインで診てもらうことができるということである。 ・健康を維持するデンタルケア授業の要望。代謝病のスタートは虫歯や歯周病からとされ、歯の健康を維持することで寿命が延びることもわかっている。若い時から充分説明し指導をする必要がある時代かと思う。ぜひデンタルケアの授業をお願いしたい。 ⇒デンタルケアの授業は行っている。カリキュラムの外科実習の中でも歯石除去を行っている。ご要望を受けさらに内容を充実させ継続して実施する。 （３）動物共生関連科（動物共生研究科・動物共生総合科） ・現在日本にあるペットと泊まれる宿は宿泊施設全体の 2%程といわれている。犬の数が 700 万頭とすると総人口の約 7%が犬と一緒にいる。軽井沢に動物と一緒に泊まれるホテルがある。ここで提案、例えば共生学生の軽井沢合宿研修の際にペットと泊まれるホテルを見学させて

	もらうのはどうか。必要であれば紹介する。 ⇒ペットと泊まれる宿の内容については、共生関連科を設置するにあたって3年間実施した文科省委託事業の成果により、授業内容に取り入れている。軽井沢研修において、提案いただいたペットと泊まれるホテルの見学を早速メニューに取り入れる検討をする。 ・子供の数が減っている。アルファ世代というのがある。アルファ世代が今でいう12歳、アルファ世代が社会に出て来るのが、高卒は約6年後、大卒が約10年後。その中で、週刊誌に10年後には企業に入ってくる新卒の数が20%減になるとの記事があった。学生も減ってくる中で、今後の学校運営にアルファ世代の学生達が主たる時代に向けて対策を練っていくことが重要となる。 ⇒アルファ世代対応は、今後の学校運営にとって重要である。例えば、教育教材として文部科学省も推奨しタブレットを配っている時代のため、学校もそのような教材や授業運営を導入できるよう検討していく。 ・昨年から初めて介護業界に生産性向上という言葉が入ってきた。様々なものがICT関係、DX化されてきている状況。ペットと一緒に入居できる施設や災害の時にペットも一緒に避難できるといったところも行政から求められている。 ⇒出来る限りAIやタブレット・電子機器を活用した授業展開を少しでも導入できるように継続して参りたい。 ⇒ペットと一緒に入居できる施設として、ある企業が5年程前に動物病院も併設した施設を経営している。他にも企業が経営している動物専門学校で、学校に隣接した敷地に1階には動物病院とグルーミング施設が備わった施設もある。出来始めてはいるが、なかなか浸透していかない状況。一番は動物の飼主が亡くなったときにどうするかという先の問題として、施設に入居するまではいいが、その後どうするか問題があると聞いている。少しずつ進んではいるので、ぜひそちらの施設でも新しい施設が出来た時にはご検討いただき、本学生もお手伝いさせていただければ幸い。 ⇒同行避難については、本校が開校する際に地域への貢献ということも含めて、23年前に行政（北区役所）の危機管理課に同行避難で本校が出来ることの提案をした。昨年就任した北区長から同様のことを依頼され、北区と本校と同行避難の協定について進行している状況。 【総括】 人材不足は需給の問題だと思っている。日本は低い失業率が続いている。動物業界も人が足りないが、一方で盛り上がっている業界もある。

	それは我々の動物業界に魅力がないからとも思う。今後魅力的な業界作りをどうするのか、どう伝えていくのか。我々は命を扱ったり、人の幸せを作っていく業界なので、その価値をどう伝えていくかということが大事だと思う。「ただやはり給料は大事だと思う。」日本の動物病院は、昔のペットブームの中で集客の点で安売り合戦から始まりそれがまだ残っている。顧客に選ばれることも重要だが、従業員に選ばれるというところも大事。皆さんの話を聞いて感じた。 動物愛護法が 2013 年に改正されたが、その前は年間 80～90 万頭くらい新規の犬がいた。それが動物愛護法改正で 33 万頭、来年から 50 万頭ずつ減る。3 年後には 100 万頭をきっているという非常に厳しい状況がある。同時に、動物医療では今年の 4 月からオンラインの初診解禁や来年にはまた動物愛護法が再改正されて供給能力が半分になっていくというような話もある。そういった中で、ビジネスモデル自体がこれまでの在り方とは違ってくると思う。ビジネスモデルそのものはそれぞれの企業が考えてやっていくことだが、学校にはそのような社会情勢の中であるが、動物業界の担い手育成を継続して望む。 ５．次回委員会開催連絡 次回の委員会を、令和７年６月１７日（火）14：00～15：00 とする。詳細は後日連絡。 ６．閉会 座長の坂本敏校長から閉会の挨拶があり、教育課程編成委員会が閉会した。 【配布資料】 ・教育課程編成委員会　令和６年度第２回委員会　議事次第 ・令和７年度運営計画（案） ・教育課程編成委員会　令和６年度第１回委員会　会議議事録 以上